

HANAMIZUKI HÖIKUEN

社会福祉法人 萬年青友の会

はなみずき保育園

〒665-0842 兵庫県宝塚市川面3-10-18 TEL.0797-78-8882 FAX.0797-78-8883

はなみずき保育園分園

〒665-0011 兵庫県宝塚市南口1-7-21 TEL.0797-80-7660 FAX.0797-73-6601

HP. www.hanamizuki-hoikuen.com E-MAIL. info@hanamizuki-hoikuen.com

GUIDE BOOK

HANAMIZUKI HÖIKUEN



01

INTRODUCTION

はなみずき保育園
理念と、こだわりの給食について

INTRODUCTION



安心で安全な給食

出来たてフワフワの手作りパンを作って食べて。

☑ 卵、乳を使用しない手作りパン

食生活は育児の原点であり、何よりも大切にしたいことです。パンが焼き上がる何ともいえない良い香り、焼きたてのパンはフワフワでまた格別の美味しさです。子ども達も毎回楽しみにしてくれています。



美味しいものは、新鮮な食材選びから。

☑ 体にやさしい食材選び

健全な食生活の為に、食材を吟味し、極力添加物や着色料の少ない食材と、肉や魚などは冷凍保存していない物にこだわっています。



安心して楽しく給食を頂ける環境作り。

☑ アレルギーにも対応しています

食物アレルギーなどのお子様へは、一人一人に合わせた除去食など細やかに対応しております。担当保育士とご相談いただき、調理室と一体となり給食を進めていきます。また、代替の食品を使用するなど、他の園児との差をできるだけ少なくするように努めています。

素材本来の味を知り、好きな野菜を増やしていきます。

☑ 低農薬の食材選び

野菜の本当の味、自然に育まれた新鮮な野菜を子ども達には食べて欲しいと思い、出来るだけ無農薬・低農薬の食材選びを推進しています。

ご家庭のミルクの味を、保育園でも。

☑ 母乳・ミルクについて

授乳のご相談や、冷凍母乳などお気軽にご相談ください。ミルクは、ご自宅で飲んでいる物と同じ物を園でご用意いたします。哺乳瓶も多数取り揃えています。

愛情たっぷりの手作りおやつで、みんな笑顔に。

☑ 手作りおやつで笑顔いっぱい

安心して食べられるのが、手作りおやつの醍醐味。特別なイベントでは手作りケーキや、普段のおやつもできる限り手作りの物をと、私たちは考えています。

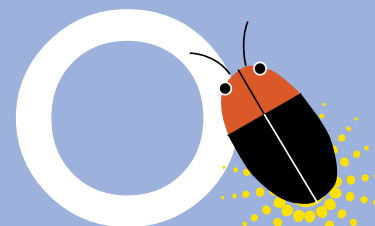
※玄米に当日の給食のサンプルがあります。

ひとりひとりのこどもを大切に育てる



02

HOTARU CLASS



0歳児 ほたる組

HOTARU CLASS

美味しくおなかいっぱい食べて、たっぷり寝て、

おむつもきれいで心地よくといった生理的な欲求が

満たされてこそ遊びにも熱中できます。

そのために保護者の方と協力しながら規則正しい

生活リズムを作っていきたいと思っています。

お子さまの成長に合わせた食事習慣

☑ 食事について

はなみずき保育園では、お子さまそれぞれの発達、歯の生え具合、そしゃく力などを考えた食事内容・食事タイムを推奨しています。担当保育士と1対1で抱っこされながら食べ、ミルクを飲んだり離乳食を食べたりします。目を合わせ、話かけながら、愛情をたっぷりかけての食事は心も体も満足してくれます。

離乳食ステップ

☑ 離乳食初期

ポタージュ状からジャム状に飲み込める柔らかさ。



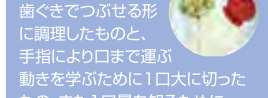
☑ 離乳食中期

舌でつぶせる固さ(豆腐くらいが目安)。つぶした食べ物をひとまとめにする動きを覚え始めるので、飲み込みやすいようにとろみをつける。



☑ 離乳食後期

歯ぐきでつぶせる形に調理したもの、手指により口まで運ぶ動きを学ぶために1口大に切ったもの、また1口量を知るためにスティック状のものをご用意。これらはスプーンを持つ手になる準備として大切なことです。



お話をしながら楽しく成長を促す

☑ トイレについて

清潔なおむつ交換台でおむつを交換します。「気持ちよくなったね」「右足を入れようね」等、ひとつひとつ丁寧に話しながら、担当保育士との1対1の時間を大切にしています。



「オムツ」はお選びいただけます

お子さまに使うオムツは、布オムツ・紙オムツから選んでいただいております。素材の違いと共に、それぞれ長所と短所があります。

お子さまの成長を、担当のスタッフが見守ります

☑ 育児担当制について

家庭の中でオムツを交換したり、食事(ミルク)のお世話をする大人はお母さんか、お父さんと決まっています。はなみずき保育園でも、誰もがするのではなく、生活に関わることをひとりの大人が担当することで、より深い信頼関係を築き、細やかで丁寧な子育てをすることができると考えています。お家ではお母さん(お父さん)が一番、保育園では、担当保育士が一番という愛着関係を築いていき、これからの長い人生の中で心の糧となることができるよう目指します。



自分専用の寝具という、安心感と気持ちよさ

☑ 睡眠について

お子さまには、それぞれ自分専用のベットを使用。自分のベッドが決まっていることにより気持ちが安定し心地よい眠りへと誘われます。

▶▶ 最新型の体動センサを導入しています

体動センサとは、乳児の睡眠時のわずかな腹部の動きを検知し、一定時間動きを検出できなかった場合は警告アラームを発します。スマートフォンに接続することで体動モニタリング・睡眠パターンなども併せて確認できます。乳幼児突然死症候群SIDSを回避出来る手段の一つとしてこの機械を採用しました。



安全に遊べる環境を

☑ ほたるデッキについて

はなみずき保育園では、お部屋から直接出ることのできるウッドデッキ(ほたるデッキ)があります。お天気の良い日など、まだまだ外遊びなどが難しいお子様にも安全に外の風や空気に触れることができます。



まずは、コミュニケーション





03

TOMBO CLASS

1



1歳児 とんぼ組

TOMBO CLASS

1歳になると自己主張が強くなり、何を言っても「イヤイヤ」など…、「自分」という自我の意識が芽生え、葛藤が出てくるのもこの時期の特徴です。子どもの気持ちを受け止めて、分かりやすい言葉にすることで、気持ちの整理ができ、感情のコントロールができるようになっていきます。大人は子どもを待ってあげ、どうしたいのかをきちんと把握して、声をかけ、見守り、サポートをしていくことが大切です。

自分で食べることを楽しむを覚える

☑ 食事について

歯が生えそろってきたら、完了食への移行時期になります。安定してイスに座れるようになり、お皿から一口量ずつ自分ですくって食べるようになります。



できるようになる喜びが、次のステップへつながります

☑ 着替えについて

「自分でしたい」という時は気持ちを受け入れ、できないところは大人が手伝うようにします。「できた」という喜びと一緒に感じ、自信がついていく中で次のステップへの意欲が育つように心がけます。子どもたちが自分で着脱しやすいものをご準備頂いています。



たくさん遊んだ後の、心地良い睡眠の為に

☑ 睡眠について

ベッドの場所はいつも変わることなく同じ場所に置きます。そうすることで「自分の場所」を認識し安心してゆっくりと睡眠がとれるようになります。



遊ぶように、お絵描きも楽しみながら

☑ おえかき

なぐり描きから始まり、肩からの運動や指先の力にも繋がります。曲線や丸などが描けるようになり、描いたものに名前をつけたりするようになります。



色々な遊びを通して成長すること

☑ 子どもが遊んでいる風景

「遊び」=「学び」…子どもはただ遊んでいるわけではありません。子どもが遊ぶことは、大人の学習と同じ意味を表しています。歩く、走る、転がす、投げるなどの基本的な動きを繰り返すことで、身体の様々な発達を促していきます。また、手指の細かい動きが発達し、積木を積んだり、並べたりできるようになっていきます。そして観察力がついてくるのもこの時期で、大人やお友達の動作の模倣をします。

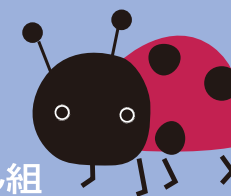
- お人形を覆かせて布をお布団代わりにかけると、動作などもよく見られるようになります。
- 四つ這いや、歩き始める子どもがいることから、はなみずき保育園ではお子さま達が沢山動いて遊べる環境作りをこだわっています。
- 部屋の中を探索する中で、様々な物を見たり触れる事により、その物の素材・形・性質を知り、用途などを理解していきます。
- また自分の周りに道具を集めて「たくさん」「いっぱい」を好むことから、ひとりひとりの子どもに、十分な道具の量と空間を用意するようにしています。



04

TENTO-MUSHI CLASS

2



2歳児 てんとうむし組

TENTO-MUSHI CLASS

生活に必要な行為が身についていく時期です。「自分でやってみたい」と、挑戦しようとしています。一人ひとりの個人差や気分や体調にムラがある時でも、その気持ちを大人が汲み取り、見守ったりサポートし、上手くできなくても頑張ったことを受け止めてあげます。毎日積み重ねた行為は習慣になり、自立へと向かいます。言葉もはっきりしだし、主張も増え様々な感情が芽生え、葛藤も起こります。自分以外の存在にも気付くようになり、少しずつ関わりが増える中で、自己を確認していく時期になります。

お友達が増えて、遊びの種類も広がります

☑ お友達と遊ぶ

少しずつ、お友達にも関心が出てくる時期です。一対一のコミュニケーションから始まり、一緒にお出掛けをしたり、ごっこ遊びをする姿が見られるようになってきます。



みんなでお祝い、楽しいお誕生日

☑ お誕生日おめでとう

誕生日には、王様の椅子に座ってお祝いのパーティーをします。みんなで絵本を読んだり、誕生日の歌を歌ってお祝いします。



成功することで、自然とトイレの習慣が身に付くようになる

☑ トイレトレーニング

排尿の間隔が一定になったらトイレに誘い便器での成功を増やします。おむつが濡れずに過ごせる日が増え、パンツで過ごすようになります。子どものプレッシャーにならないよう、焦らずゆっくりとすすめていきます。



季節を感じて楽しく遊ぶ

☑ 季節行事への参加について

流しそうめん、かき氷、クリスマス会、おもちゃなど、季節行事へ少しずつ参加できるようになってきます。



楽しみながら、少しずつ…

できる事が、増えてきたね





05

KABUTO-MUSHI &
ZARIGANI CLASS

3・4・5

3・4・5歳児 かぶとむし組
ざりかに組KABUTO-MUSHI &
ZARIGANI CLASS

異年齢(3・4・5歳児)のクラスで
過ごすことで、年長児は小さいお友達を
いたわり助け合う気持ちが育っていきます。
年中児・年少児は年長児がしていることを憧れに思い
真似したり、挑戦してみようと行動に移っていきます。
そうすることにより、お互いが刺激し合い、



☑ お部屋の遊びについて

お部屋の中には主に、本物さながらの可愛いキッチンセットの空間、机の上でゲーム等で遊ぶ空間、たくさんの積木が自慢の積木の空間、絵本を読みながらゆったりとくつろぐソファの空間があります。
これらの空間の中で、子どもは、自分で好きな遊びを選び(自主性)、たっぴりと遊びこむことができるようにしています。



☑ 自家菜園について

当園自慢の畑が園庭に広がっています。
いちご、さつまいも、だいこん、たまねぎ、なす、きゅうり、とまと。
子ども達自身で土に触れ、苗を植え、水をやり育った野菜は格別です。
普段は野菜の苦手な子ども喜んで食べてます。畑で採れたての野菜やいちごをパクとたべると美味しいです。



☑ クラブ活動について

毎週木曜(13:30~14:30)にクラブ活動を行います。
クラブ活動は、年長組がお屋敷がなくなっていくことから(個人配慮はありますが)、お昼寝の時間帯に、年長組しかできない活動ができます。
月替わりのテーマに取り組むことで意欲も生まれ、熱中して活動に取り組んでいる姿が見られます。



【クラブ活動】絵の具、なわとび、乗り物、手芸、木工等

☑ 体育(ラグビー)について

毎月2回、専門の体育指導講師が来園し、体育を行っています。
体育用具(マット・跳び箱・鉄棒)・ボール・縄跳び・短縄を用いたり、夏期はプール指導も行っています。
冬にはラグビーにも取り組み、他の保育園も集まり本格的な親善試合に近い形で参加しています。



☑ 園庭の樹木について

当園の園庭には、大きなやまももの木をはじめ、かき、ひめりんご、どんぐりなど色々な樹木があります。季節になれば収穫して食べてみたり、それらの木で木登りしてみたり。木登りにチャレンジしながら「自己防衛本能」「危険察知能力」が自然と身に付き、これ以上は危ないかと本能的に察知できるようになると考えています。



☑ 散歩について

広いところでおにごっこをしたり、どんぐりを拾ったり、歩いていて花が咲いているのを見つけたり。散歩には、園庭での遊びとはまた違った楽しみがあります。
はなみずき保育園の園庭だけでなく散歩に行く場所も第2の園庭として大活躍しています。



BLOG CHECK!!
幼児クラスは、毎日ブログを配信しています!



5歳児クラスが
お昼の時間に活動する部屋
SUZUMUSHI ROOM
すずむしルーム

【年長】宝塚自然の家

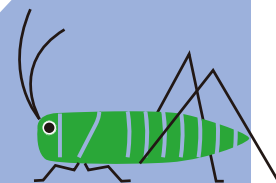
月に一度、宝塚の北部・西谷地区まで園バスに乗って自然体験に行きます。
大自然の中でザリガニ釣りや炊き出しを行い、貴重な自然の数々に触れることが出来ます。



06

BATTA CLASS

SHORT STAY

一時保育 ばった組
BATTA CLASS

一時保育ばった組も「みんな、はなみずきの子」という考え方で、運動会、発表会、バス遠足など年齢が合わないもの以外、すべての行事へ参加していただいています。
行事の日を楽しみに予約する方もいます。
一時保育を大切にしていることが伝われば幸いです。

☑ 「様々なシチュエーションで、一時保育をご活用ください」

- ☞ サポート保育(非定型的保育サービス)
保護者の労働、職業訓練、就学により、断続的に家庭でお世話ができないお子様を保育園でお預かりします。
- ☞ 緊急保育(緊急保育サービス)
保護者の疾病(通院・入院)、災害、事故、出産、介護、冠婚葬祭など社会的にやむを得ない理由により、家庭でお世話ができないお子様を保育園でお預かりします。
- ☞ リフレッシュ保育(私的理由による保育サービス)
保護者のリフレッシュなど、育児に伴う心理的・身体的負担を軽減する為に、保育を必要とするお子様を保育園でお預かりします。



一時保育のご利用案内 (本園のみ実施)

利用期間 月16日以内

- 利用料
- 1日(AM7:00~PM18:00)
※給食・おやつ代を含みます。
 - 0歳児/2,800円
1~2歳児/2,400円
3歳児~就学前/2,000円
 - 1時間あたりの利用料/500円
※給食300円・おやつ100円別途。
ミルクのみ100円
 - ネットにて予約、キャンセル、空き状況の確認ができます。

面接のご予約もネットからできます
<http://hanamizuki.yoyakubako.jp/yoyaku/>

定員 1日15人前後

休園日 日曜日、祝日 年末年始

一時預かり保育には、事前に登録・面接が必要です

親子をサポートする場所



砂!水!遊具がコラボ!ぐりぐら園庭

HAGS社製の大型遊具と乳幼児遊具がシンボリックな「ぐりぐら園庭」。この遊具は、たとえば「登る」だけでも、筋力や身長、バランス力などの身体の成長が必要で、またその成長を促すように考えられています。さらに、遊具の遊びをもっと豊かにしてくれるのが、砂場とポンプです。子どものイメージンを刺激する砂と水での遊びです。



がんばれ〜!

一緒に
行こう〜!

憧れが膨らむ大型遊具。滑るとスリリングな滑り台を目指して、何度も登っています。登るには筋力とバランス感覚を要します。



乳幼児遊具も仕掛けがいっぱい。クライミングやはしごで登ったり、舵を握って船旅ごっこを楽しんだり、パイプを使ったおしゃべりも楽しい!



冷たくって
きもちいい〜



お友だちにこいでもらって、いつ水が出てくるかとドキドキなポンプ。バシャー!と勢いよく出てくる水に大興奮です。

事故・怪我の防止の取り組みについて

安全性だけを考慮して危ないものすべてを取り除くのではなく、社会に出たときに子どもたちが自分で危険を防ぐ力を身につけることができるよう心がけています。本園では、そんな園庭での遊びを重視しながらも、屋外でのさまざまな危険性を想定し、防止策を施しています。

落下マット



クライミングウォールやターザンロープなど高さのある遊具の登り・下り箇所の下に、鉄棒などに使用する厚みのある「落下マット」を敷いています。

樹木の剪定



園庭の樹木は、目の高さにかかるような飛び出した枝などをチェックして剪定しています。弱ってきた枝も折れたりしないようにももって剪定します。

乗り物コース



乗り物コースにはあえて柵を作らず、縄でラインを引いています。走行方向など、実社会を想定して交通ルールを守るように伝えています。

アネビーマット



ぐりぐら園庭の地面やクローバー園庭の一部には、アネビーマット(衝撃吸収性に優れたマット)を敷き詰め、転倒等の衝撃を軽減する配慮もしています。

園庭メンテナンス会

ぐりぐら園庭・クローバー園庭のたくさんの遊具や砂場、乗り物などを長く安全に使えるよう、修繕やメンテナンスを保護者の皆様にもご協力いただき、実施しています。普段の送迎時とは違った目で園庭を見つめることで、多くの気付きがあり、いただいたご意見がさらに園庭の安全や新たな使い方にもつながります。



子どもの遊び、人格を尊重し、大人と対等として考える。それにふさわしい環境・遊具は用意できているか。大人の都合なんてこれっぽっちも入ってはいけない。まさに真剣勝負。未だに園庭・園外活動にゴールは見え、子どもからこぼれ出る輝き、アイデアを何とか具現化することに残りの人生を捧げたい。

はなみずき保育園
園長 前田幸男

夢中になって 遊び込める園庭

園庭って、なんのためにあるの?!



楽しいだけじゃない乳幼児期の生きる力を育む工夫と配慮

子どもたちの健やかな心身の成長と豊かな人間性を育むため、はなみずき保育園では園庭での遊びを大切にしています。複合遊具、砂場、乗り物、ポンプが中心となった「ぐりぐら園庭」。多彩な樹木や手作り遊具、乗り物コースを設置した「クローバー園庭」。中でもクローバー園庭は、四季折々の緑の中で子どもの冒険心をくすぐり、チャレンジ精神や感動に満ちた場所となるよう、日々、変化と進化を繰り返しています。それは時には、ちょっぴりハラハラ、ヒヤリとする体験と隣り合わせ。でもそれらは、どれだけ言葉で教えても伝わらない、子どもが「自分の心と体で身に付ける、未来を生き抜く力」なのです。



あふれる自然の中で、発見と学びに満ちたクローバー園庭

空や風の様子、空気のおいさ草木など、四季の移り変わりを、自然を通して感じられるクローバー園庭。そこには、室内では得られない、教え切れない発見や学びがあります。たくさん手作り遊具や乗り物、畑など、それらは「楽しい遊び」であることはもちろん、それ以上に「子どもの五感を育む工夫」をしています。既製の玩具とは違った、砂・水・植物といった自然のものを使い、乳幼児期ならではの自由な発想と五感で遊びます。

木のぬくもりあふれる大型遊具も、クローバー園庭の魅力の一つです。登れた友だちの笑顔を眺め、憧れを抱き、登れない悔しさを味わいます。挑戦する間、大人は決して手を出さず見守ります。子どもが自分で挑戦したいと思う気持ち、試行錯誤する経験、そこから得られる達成感を大切にしています。菌を食いしぼり、やっと登りきったその時に広がる景色はどんなに素敵なのでしょう。園庭で体感したすべての経験が、子どもの胸に刻まれ、未来を生きていく上で糧になることでしょう。



おうち

さるすべりの木を囲む遊具に作られたクライミングを登りきると、登り棒と吊り橋が登場。吊り橋の足元は縄一本!渡りきると、お人形やままご道具、絵本が置いてある「おうち」で遊べます。下りるためのターザンロープもスリル満点!



どんぐりはうす

登る手段は一本の縄だけ。どうすれば登れるのか?頭と体を使って、ぶらさがる怖さと戦って、繰り返し挑戦する姿が見られます。子ども同士で励まし合ったり、登り方を教え合うことも。はうすの中には、ハンモックやおもちゃが置いてあります。



はなみずきはうす

1階のネットは日陰にもなるのんびりと過ごせます。長いネット・タイヤ・はしご・クライミングなどさまざまな登り方ができる2階には、船の横断幕も。3階はどんぐりはうすから繋がる、子どもたちだけの秘密基地。最高の眺めに出会えます。



畑・園庭調理

季節ごとの野菜を育て、収穫します。野菜が育つ様子を普段の遊びの中で自然と目にするので、葉っぱの形や花の色など気づきがたくさん。穫った野菜は園庭でクッキング。子どもたちは園庭で食べるひだまりランチも大好きです。



虫探し

草木が豊富な園庭だからこそ、まるごと虫たちの森でもあります。どこにどんな虫がいるのか。幼虫か、成虫か。季節によっても違うさまざまな虫たちとの出会いに子どもたちは胸を躍らせ、草木や畑に潜り込み、夢中で探しています。



ポンプ・水遊び

子どもたちが遊びに使ってもいい水場を各所に設置。バケツに水を汲んで運んだり、竹をつなげて思い思いの水路を作ったり、遊びの広がりは無限です。水と草花を使って色水作り、冬には氷作りなど、四季の楽しみ方があります。

はなみずきニュース



はなみずき保育園では、子どもたちの健やかな成長のために、そして安心安全な保育園生活のためにさまざまな取り組みをしています。今回は、園庭での取り組みなどをご紹介します。

「見守る」保育で子どもの力を引き出す



園庭の豊かな自然や遊具を通して、子どもたち一人ひとりが個性を發揮し、一歩ずつ成長できるように、当園では「見守る」保育を大切にしています。たとえば誰かが高い遊具に登れず苦戦している時、大人が手を貸すことは簡単です。子どもも遊具の上の世界を体験できれば、喜ぶでしょう。けれど、登れないということは、下りられないということ。場合によっては遊具を使いこなせず、大きな怪我を招く可能性があるのです。

私たちが大切にしているのは、「子ども自身」が挑戦して知識や技術を身に付けることだけでなく、その過程にある頑張る気持ちや悔しい気持ちを含めた経験です。その数々の過程に寄り添い、見守ることが、子どもたちを本当の意味で成長させるのだと信じています。

先日お配りした新しい園庭パンフレットには、そうした想いについても記しています。日々、進化している園庭と、保育への想いを、お読みいただければ幸いです。



おいしくて楽しい園庭クッキング！



園庭の野菜たっぷり！ほかほかスープ

レモンと氷砂糖で作ったシロップのお湯割りも人気♪

園庭では、季節の野菜や果物を育てています。食べごろになると、気づいた子どもがもぎとって食べたり、日によってはみんなで収穫してその場で調理したり。冬の園庭クッキングで活躍するのが炭火を使うダッチオーブン！野菜の味がさらに濃縮され、格別のおいしさが味わえるのが魅力です。このオーブンで作った料理なら、苦手な野菜を食べられる園児もいるほどです。採れたての野菜と調理さん厳選のダシを使った味噌汁やスープで、心も体も温まります。

園庭の植物から広がる子どもの世界



四季折々の花や草木がさまざまな姿を見せ、季節の彩りであふれるクローバー園庭。その時に合わせた植物を植え替えたり、必要に応じて剪定したりしています。

たとえば桜の見頃と入れ替わるように黄色の花を咲かせるモッコウバラ。ツルが伸びてくると、ラティス（柵）に巻きつける手入れを行っています。子どもたちはその美しい花びらに目を輝かせ、おままごとや創作に次々とアイデアを膨らませて遊んでいます。

風や鳥たちが運んでくれた種から野草の芽が出ることや、オナモミ・数珠の実など昔から子どもたちが遊びに使っていた植物を保育士が植えることもあります。

さらに、いろいろな野菜の栽培では、子どもたちが種まきから収穫までの過程を体験できるだけでなく、普段は目にするのが少ない野菜の茎や葉、根っこなどのすべてが遊びの道具に！同じ葉っぱでも、形や色、ニオイ、手触りの違いなど、子どもたちの好奇心から、思いがけない発見と感動が尽きません。